

第12回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日時

令和3年3月25日（木）10時00分から11時00分まで

2. 場所

TV会議

3. 出席者

- (1) 国：内閣府、原子力規制庁、経済産業省、海上保安庁、陸上自衛隊
- (2) 自治体等：新潟県、柏崎市、刈羽村、長岡市、小千谷市、見附市、燕市、上越市、出雲崎町、十日町市、東京電力ホールディングス株式会社

4. 議事

- (1) 柏崎刈羽地域の緊急時対応（案）の進捗状況について
- (2) その他

5. 議事概要

- (1) 柏崎刈羽地域の緊急時対応（案）の進捗状況について

- 内閣府から、「UPZ内における対応」、「放射線防護資機材、物資、燃料の備蓄・供給体制」、「緊急時モニタリングの実施体制」、「原子力災害時の医療等の実施体制」について、前回の作業部会において確認した課題に対する国及び自治体等による対応状況を報告し、出席者間でその内容を確認した。
- 今冬の豪雪を踏まえ、地域の課題として、原子力災害と雪害の複合災害時の対応メニューを挙げ、今後詳細について検討を進めることとした。
- 上越市より、除雪作業者の防護措置の関係、放射性物質に汚染された雪が降り積もった場合の屋内退避の効果についての質問があり、前者については、全面緊急事態以降の除雪体制の構築の中で検討していくこと、後者については、汚染された雪の遮蔽効果の研究は行っていないが、原子力規制庁等において屋内退避の効果の研究をしており、そちらを示したい旨、回答した。

- (2) その他

- 特になし

以上